

森の世話人が体験したヒヤリ・ハット

第三回講習会で参加者からだしていただいたヒヤリ・ハット体験です。どのような改善策があるでしょうか。

資料3

区分	ヒヤリとした体験、ハットとした体験		改善策	
	NO	状況	NO	内容
転倒	1	ネザサ刈りの最中に転倒し、ネザサの鋭利な切り口で手を刺した。 (顔に刺さりかけた等多数)	1-1	
			1-2	
	2	(濡れた落葉の)斜面で転倒。軽く捻挫した。	2	
	3	伐採した木を乱雑に放置していたため、つまずいて転倒した。	3	
	4	事前の足場確認が不十分だったため、伐採中に足を踏み外し、5m 転落した。	4	
刃物	5	草刈中に鎌で指を切った。	5-1	
			5-2	
			5-3	
	6	軍手をはめたまま鉋を使用し、手が滑って鉋が飛んだ。	6	
	7	刃を上にして地面に置いていたので危険だった。	7	
8	鎌を引きすぎて靴まで切ってしまった。	8		
立木の 伐採	9	伐木作業時に想定外の方向(自分のいる方向)に倒れてきた。	9	
枝の落下	10	つるを除去するため、つるを強く引っ張ったところ、巻きついている 枝ごと落ちてきた。	10	
	11	竹を伐倒した際、竹が古木の枝にあたり、大きな枝が落下した。	11	
その他	12	急いで山をのぼった際、ペースについて来られない人がおり、自分 のペースで、一人で来てもらうようにしたが、持病を持ち、途中で倒 れる危険があったことを後で知った。	12	
	13	刈払機を使用した草刈りで、周辺監視役をしていた際に、胸ポケッ トにいれていた眼鏡を落とし、刈払機で破損した。	13	

改善例

ここに示した改善策は第三回の講習会で出された一例です。
この他にも多くの改善策がありますので、一度、考えてみてください。

区分	ヒヤリとした体験、ハツとした体験		改善策	
	NO	状況	NO	内容
転倒	1	ネザサ刈りの最中に転倒し、ネザサの鋭利な切り口で手を刺した。 (顔に刺さりかけた等多数)	1-1	鋭利な切り口にならないよう、鋸刃がついた鎌や鋸を使用する。
			1-2	鋭利な切り口を(固いもので)つぶして刺さないようにする。
	2	(濡れた落葉の)斜面で転倒。軽く捻挫した。	2	スパイク付きの長靴を履く。
	3	伐採した木を乱雑に放置していたため、つまずいて転倒した。	3	伐採した木や枝を丁寧に集積するようにした。
4	事前の足場確認が不十分だったため、伐採中に足を踏み外し、5m転落した。	4	足場確保等の安全確認を複数で行うようにした。	
刃物	5	草刈中に鎌で指を切った。	5-1	事前に道具の正しい使い方を説明する。
			5-2	軍手ではなく皮手袋を使用する。
			5-3	自分で鎌を砥ぐ。切れ具合を自覚でき、慎重に取り扱うようになる。切れ味がよければ、力をいれる必要がないため、怪我をしにくい。
	6	軍手をはめたまま鉈を使用し、手が滑って鉈が飛んだ。	6	素手か皮手袋を使用するようにした。
	7	刃を上にして地面に置いていたので危険だった。	7	刃を上向きに置かないのはもちろんのこと、踏む恐れのある場所に道具を置かない。
	8	鎌を引きすぎて靴まで切ってしまった。	8	鎌をよく切れる状態にしておく。切れないから力が入り、鎌を引きすぎてしまう。
立木の伐採	9	伐木作業時に想定外の方向(自分のいる方向)に倒れてきた。	9	想定外の出来事が起きうることを前提に作業する。
枝の落下	10	つるを除去するため、つるを強く引っ張ったところ、巻きついている枝ごと落ちてきた。	10	頭上作業ではヘルメットを着用する。
	11	竹を伐倒した際、竹が古木の枝にあたり、大きな枝が落下した。	11	伐倒木の2倍の半径内に入らないことを徹底する。
その他	12	急いで山をのぼった際、ペースについて来られない人がおり、自分のペースで、一人で来てもらうようにしたが、持病を持ち、途中で倒れる危険があったことを後で知った。	12	余裕を持って行動し、事故が起きてもすぐに対応できるようにする。
	13	刈払機を使用した草刈りで、周辺監視役をしていた際に、胸ポケットにいれていた眼鏡を落とし、刈払機で破損した。	13	メガネコードをつけるなど、事前に必要な持物をチェックする。